

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立宮代高等学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	生徒の学力や生活実態を学校全体で日常的に把握し、課題を分析している。学校の現状や課題などを踏まえて概ね適切に設定されているが、第2期宮代高校改革のスタートを受けて次のステージに向けた学校像を模索していただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえて取り組むべき課題が具体的に示され、日々の教育活動の指針となる目標となっている。学校の置かれた状況の変化を的確にとらえ、中期的視点から、更に検討・整理して、生徒「一人ひとり」をより向上させるための内容とすることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	企画委員会と分掌・学年等が連携し、学校自己評価システムが運営されている。学校運営の中で行われている様々な取組と、本システムがどのように関連しているかをより明確にし、学校自己評価システムシートと各分掌・学年・教科の指導計画などとの整合性を意識するようにしていただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	教職員が一丸となって朝の登校指導や校内巡回指導など様々な方策が実施され、具体的な成果も上がっている。前年度に比べ、評価指標が教職員間で達成イメージを共有できるものとして工夫されており、方策の達成状況を評価するためのものとして適切なものとなっている。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状を踏まえ、生徒に自立する力をつけさせるといった明確な学校経営の方針を持ち、取り組んでいる。校長が状況に即して的確にリーダーシップを発揮し、課題の解決の方向を示している。その達成に向けて更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	年度評価や学校関係者評価などを基に、取り組むべき課題や改善策が示されている。課題や次年度への改善策を明らかにするため、必要なデータとなるように各種アンケートの工夫を進め、更に学校関係者の意見やアンケートの結果等を分析して、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			